

先生、バナナは古楽に入りますか？

古楽って何ですか、とよく聞かれます。

「昔の音楽を当時の形で再現すること」と定義されがちですが、それだけではありません。

でも、こう言われるとますます難しく感じてしまいませんか？

それなら、まず「バナナは古楽かどうか」考えてみませんか。ぜんぜん違うものを並べてみると、かえって「古楽らしさ」が浮かび上がってくると思うんです。

音楽が「クラシック」と括られる前、音楽はいつも“世界初演”で、作曲家と演奏家の境界も今よりずっと曖昧でした。その自由でクリエイティブな精神を思い出しながら、今年の古楽祭はバッハ様式の新作パロディや、東西の楽器の出会いに挑戦します。ここ高松から生まれる新しい響きの中で、「古楽」という新しい音楽を、皆さんと一緒に楽しめたら嬉しいです。



©Shiho Kozai / Hiroshi Neguchi / Shintaro Miyawaki

たかまつ国際古楽祭芸術監督 **柴田俊幸**

Access ※各会場の詳しいアクセス情報を古楽祭公式ウェブサイトでご案内しています

●高松	
高松市美術館	高松市紺屋町10-4 (JR 高松駅から徒歩15分/ことでん片原町駅より徒歩10分)
たかすの杜 蓮のうてな	高松市今新町1-4 高須ビル (JR 高松駅から徒歩16分/ことでん片原町駅より徒歩8分)
Knocking kitchen (ノッキング・キッチン)	高松市藤塚町3-5-19 ミカサビル 1F (ことでん瓦町駅より徒歩8分)
●直島	
直島ホール (直島町民会館)	香川郡直島町696-1 (高松港よりフェリー 50分 or 高速旅客船30分／宮浦港からバス5分)

チケットお取り扱い

TICKET

●**たかまつ国際古楽祭 Peatixページ**(電子チケット)[全公演] <https://musica-antiqua.peatix.com>

●**チケットぴあ**[公演4のみ] <https://t.pia.jp> (Pコード307-910)

●**香川県内お取扱いプレイガイド**[公演4のみ]

◎レクザムホール(香川県県民文化会館)窓口 サービスセンター(小ホール棟1階) 087-823-5023

◎楽器堂 OPUSイオンモール高松店 087-832-8016

◎ハイスタッフホール(観音寺市民会館) 0875-23-7600

*それぞれの拠点での販売枚数には限りがございます。予めご了承ください。

●**電話予約**

【公演3のみ】 たかすの杜 蓮のうてな 087-821-6341

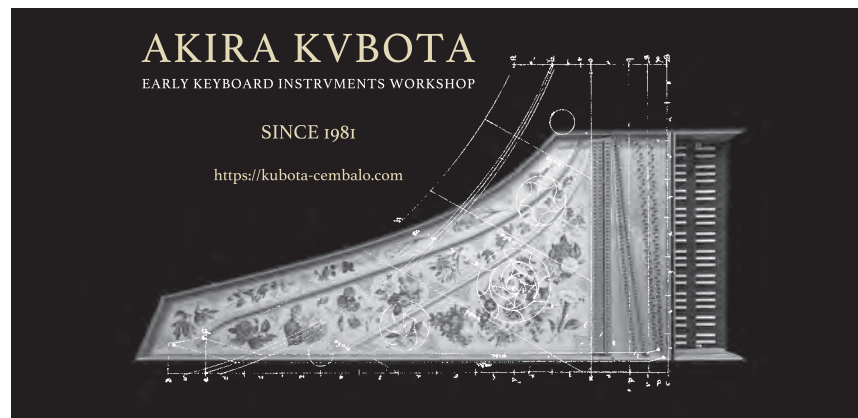
【関連イベントのみ】 Knocking kitchen 087-837-8181

*チケットはすべて税込価格となります。*ネットオークション等での営利目的の転売はお断りします。
*お客様都合によるチケットのキャンセルは承っておりません。



たかまつ国際古楽祭 サポーター募集中！

世界の古楽を高松へ、新しい音楽を世界へ——
古楽祭は、独自の取組を通じて地域に古楽を根付かせることを目的に、手頃なチケット価格や子どもたちへの無料サービスを続けています。未来に向けて、ぜひ皆様のご支援をお寄せください。



主催・お問い合わせ

たかまつ国際古楽祭実行委員会

tel 080-5665-7050 (平日10:00-18:00)

mail takamatsu.kogaku.2025@gmail.com

web <https://mafestivaltakamatsu.com>



公式HP



@Setouchi_Kogaku



@MusicaAntiquaTakamatsu

『第8回』たかまつ国際古楽祭

先生、バナナは古楽に入りますか？



2025

10/31(金)~11/2(日)

高松市美術館／たかすの杜／直島ホール ほか

助成：芸術文化振興基金／公益財団法人 朝日新聞文化財団

協賛：ジェリーズポップコーンSP／たかすの杜

共催：高松市（ガラ・コンサートのみ）

後援：直島町教育委員会／朝日新聞高松総局／産経新聞社／山陽新聞社／四国新聞社／毎日新聞高松支局／読売新聞高松総局／RSK山陽放送／RNC西日本放送／OHK岡山放送／KSB瀬戸内海放送／TSCテレビせとうち／KBN／CMSケーブルメディア四国／CVC中讃テレビ／MCB三豊ケーブルテレビ／FM香川／FM815／高松リビング新聞社／ナイスタウン

協力：久保田チェンバロ工房

主催・企画制作：たかまつ国際古楽祭実行委員会



かがわ文化芸術祭2025参加公演



芸術文化振興基金助成事業

10/31

金

アートの島に珍しい笛の数々が大集合！

公演1

島古楽1 featuring さかなにしようかな

13:00（開場12:30）～13:35

直島 直島ホール（直島町民会館）

公演2

島古楽2 featuring さかなにしようかな

15:00（開場14:30）～15:35

直島 直島ホール（直島町民会館）

※直島小学校へのアウトリーチ事業

出演 | さかなにしようかな（古楽器バンド）

（ 中迫酒菜（リコーダー、パーカッション、ルネサンスギター、クルムホルン ほか）／
長谷川太郎（ドゥルツィアン、ショーム、コルナムーゼ ほか）／志村樺奈（ショーム、バグパイプ、クルムホルン ほか）
柴田俊幸（リコーダー）

曲目 | アルフォンソ10世編纂：「聖母マリアのカンティガ集」より
M.ブレトリウス：「テルプシコーレ舞曲集」より／ J.H.シャイン：「音楽の饗宴」より
中迫酒菜：オリジナル曲 ほか

TICKET：各公演 一般2,000円 高校生以下無料



今年の公演の様子

11/1

土

ロマン派的解釈によるバッハの無伴奏チェロ組曲

公演3

バッハで浪漫飛行

13:30（開場13:10）～14:20

高松 たかすの杜 蓮のうてな

出演 | 山根風仁（チェロ）

曲目 | J.S.バッハ（フリードリヒ・グリュッツマッハー編曲）：無伴奏チェロ組曲より 第1番 ト長調 BWV1007 第2番 二短調 BWV1008

TICKET：一般3,500円

誰もが知るあのメロディを古楽器で♪

関連イベント

さかなにしようかなLIVE ～中世から昭和まで、懐かしのヒットパレード！

19:00（開店18:00）～19:30

高松 イタリアンレストラン Knocking kitchen

出演 | さかなにしようかな（古楽器バンド）

（ 中迫酒菜（リコーダー、パーカッション、ルネサンスギター、クルムホルン ほか）／
長谷川太郎（ドゥルツィアン、コルナムーゼ、ゲムスホルン ほか）／志村樺奈（ショーム、ドゥルツィアン、クルムホルン、バグパイプ ほか）

曲目 | ラ・ロッタ／いつも何度でも／赤いスイートピー／ルパン三世のテーマ／上を向いて歩こう／シーベグ・シーモア／オー・シャンゼリゼ ほか

TICKET：ミュージック・チャージ 2,000円（1名様あたり）＋飲食代

※飲食代については、現地で各自お支払い下さい。

11/2

日

バッハもビックリ、委嘱新作2曲が世界初演！

公演4

公演4 古楽祭ガラ・コンサート

17:45（開場17:30）～19:45

高松 高松市美術館エントランスホール

出演 | バルト・ナーセンス（指揮、チェンバロ） 坂本久美（ソプラノ） LEO（箏） 黒田鈴尊（尺八）

大光嘉理人（ヴァイオリン／コンサートマスター） 大橋麗実（ヴァイオリン）
本田梨紗（ヴィオラ） 山根風仁（チェロ） 布施砂丘彦（ヴィオローネ）
柴田俊幸（フラウト・トラヴェルソ）

曲目 | グラুবナー：序曲 イ短調 GWV478 より 第1楽章

伊藤康英：尺八、箏、トラヴェルソ、チェンバロと弦楽オーケストラのためのコンチェルトンテ [委嘱新作／世界初演]
J.S.バッハ：ブランデンブルク協奏曲第5番 二長調 BWV1050
J.S.バッハ：カンタータ第82番「私は満ち足りている」 BWV82/2（ソプラノ、フラウト・トラヴェルソ版）
桑原ゆう：フラウト・トラヴェルソと古楽器オーケストラのための小品 [委嘱新作／世界初演]
J.S.バッハ：管弦楽組曲第3番 二長調 BWV 1068（ケーテン時代の初稿版）

TICKET：一般：前売4,000円（当日4,500円）／高校生以下：前売2,000円（当日2,500円）

※美術館でのチケットのお取り扱いはありません。



今年の公演の様子



Performers

さかなにしようかな（古楽器バンド）

中迫酒菜

（リコーダー、パーカッション、ルネサンスギター、クルムホルン ほか）

Nakasako Sakana

愛知県出身、埼玉県在住の作編曲家・楽器奏者。古楽器や民族楽器をフィーチャーした対位法的な作曲が得意。300を超える楽器を所有しており、とくに中世～ロマン派に使われていたピリオド楽器に明るく、レコーディングでも多数使用。

長谷川太郎

（ドゥルツィアン、ショーム、コルナムーゼ ほか）

Taro Hasegawa

東京藝術大学卒業。パリ国立地方音楽院古楽科を最優秀にて修了。フランス国营放送やヴェルサイユ宮殿などでコンサートや録音に参加。帰国後に東京にて日本初となるドゥルツィアンのリサイタルを開催。現在は各地の古楽団体や音楽祭にゲストやソリストとして出演。500年にわたる歴史的ファゴットを駆使した演奏企画を行なう。

志村樺奈

（ショーム、バグパイプ、クルムホルン ほか）

Kana Shimura

埼玉県出身。東京藝術大学卒業後、同大学大学院修士課程を管打楽器科最高位で修了、大学院アカンサス賞を受賞。中世バグパイプを近藤治夫氏に師事。現在、カーン地方音楽院にてエルザ・フランク、ジェレミー・ババセルジオ両氏のもと、歴史的ダブルリードについて研鑽を重ねているほか、フランス各地で公演に参加している。

山根風仁

（チェロ）

Futo Yamane

高知県出身。美学的側面から作曲当時の演奏習慣を研究し、実際の演奏へと取り入れるヒストリカル・チェロ奏者。バツハ・コレギウム・ジャパンなど、日本を代表するアンサンブルの奏者として演奏するほか、イギリス、ベルギー、フランスをはじめとするヨーロッパ各地の音楽祭に出演するなど、国内外で活動。第32回青山音楽賞（新人賞）を受賞。2025年、Duo Yamaneとして国際ファン・ヴァッセナール・コンクール（古典派・ロマン派部門）にて優勝。

バルト・ナーセンス

（指揮、チェンバロ）

Bart Naessens

ブリュッセル王立音楽院古楽科主任、チェンバロ科教授。近年は指揮者としても活躍の幅を広げ、B' Rockオーケストラ、オランダ・バツハ協会、イル・ガルデリーヌ、フランダース歌劇場などに客演。バイロイト・バロック音楽祭やユトレヒト音楽祭にも登場している。ソリストとしても活動し、YouTube「All of Bach」では多くのバツハのオルガン作品を録画。2025年夏にはラ・プティット・バンドと共にバツハのチェンバロ協奏曲をCD録音するなど、ソリストとしても精力的に活動している。バツハ・ブラ音楽監督。

坂本久美

（ソプラノ）

Kumi Sakamoto

神奈川県出身。国立音楽大学大学院修了後、渡仏。エコール・ノルマル音楽院、パリ地方音楽院古楽科で演奏家課程ディプロムを取得。古楽から現代音楽まで幅広く活動し、レ・ゼボベやレ・パラダンにソリストとして参加。トゥールーズ国際仏歌曲コンクールフォーレ＝セヴラック賞、エネスク国際声楽コンクールグランプリ受賞。

LEO

（箏）

LEO

カーティス・バタソン、沢井一恵の両氏に師事。16歳でくまもと全国邦楽コンクールにて史上最年少で優勝を果たす。藤倉大委嘱新作の箏協奏曲を世界初演。2024年には招聘され、同作品をウィーン・コンツェルトハウス、スロヴァキア・フィルハーモニーでも好演。出光音楽賞、神奈川文化賞未来賞、横浜文化賞文化・芸術奨励賞受賞。

黒田鈴尊

（尺八）

Reison Kuroda

文化庁文化交流使。国際尺八コンクール2018 in ロンドン優勝。毎年世界各国で独演会を開催。藤倉大、山本和智、桑原ゆうほか多くの協奏曲の初演ソリスト。録音に参加した『将軍 SHOGUN』オリジナルサウンドトラックがグラミー賞ノミネート。アンサンブル室町、邦楽四重奏団、The Shakuhachi 5、RigarohieSメンバー。

大光嘉理人

（ヴァイオリン）

Karito Ohnitsu

東京藝術大学を経て東京藝術大学大学院音楽研究科修了。ソリストとして中部フィル、名フィル、愛知室内管と共演。2019年、ロストロポーヴィチ国際音楽祭に参加。同年、「PMF 2019」に参加し、コンサートマスターを務める。令和5年度、豊田市文化振興財団より豊田文化新人賞を受賞。横浜シンフォニエッタ ヴァイオリン奏者。

大橋麗実

（ヴァイオリン）

Reimi Ohashi

同志社女子大学卒業。ボワティエ大学音楽学学科修士課程修了。バロック・ヴァイオリンをサン・モール・デ・フォッセ地方音楽院にて学び、最優秀の成績で修了。ヴェルサイユ地方音楽院でも研鑽を積む。「Quartet Noon」「レミマリデュオ」メンバー。音楽事務所 メゾン・ミュージカル共同代表。

本田梨紗

（ヴィオラ）

Risa Honda

6歳よりヴィオラを始める。兵庫芸術文化センター管弦楽団、神奈川フィルハーモニー管弦楽団契約団員を経て、フリーランス奏者としてプロオーケストラへの客演、アーティストサポート、レコーディングなどジャンルを問わず携わる。またオリジナル楽器では、アントネッロやユヴェナリスの奏者として幅広く活動している。

布施砂丘彦

（ヴィオローネ）

Sakuhiko Fuse

演奏、批評、公演の企画・制作や舞台作品の演出などを行なう。演奏家としてはコントラバスでのプロオーケストラへの首席客演、実験音楽の演奏、即興パフォーマンスなどを行なうほか、古楽器の演奏もしており、2021年からアントネッロおよびバツハ・コレギウム・ジャパンに参加。多様なサイズ、調弦のヴィオローネを演奏する。

●委嘱作曲家

伊藤康英

Yasuhide Ito

作曲家。交響詩「ぐるりよど」は世界的に知られ、ほかにオペラ「ミスター・シンデレラ」「ある水筒の物語」。柴田俊幸氏に触発された「羊は安らかに草を噛み食す」。指揮、ピアニスト、教育など幅広く活動。日本音楽コンクール作曲部門入賞など。東京藝術大学音楽学部作曲科、同大学院修了。洗足学園音楽大学教授など。

桑原ゆう

Yu Kuwabara

日本の音と言葉を源流から探り、文化の古今と東西をつなぐことを主軸に創作を展開する作曲家。第31回芥川也寸志サントリー作曲賞受賞。KAIROS（ウィーン）より作品集リリース。国立劇場、ルツェルン音楽祭など、国内外で多くの委嘱を受け作品を発表。淡座メンバー。国立音楽大学准教授。東京藝術大学、洗足学園音楽大学各講師。3shimai.com/yy/

